

第11期（令和3年度）

総会資料



日時 令和3年4月11日（日）18:00～
会場 小牧勤労センター
小牧市上末2233-2

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区
地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

第一部 開会式

司会 田口総務副委員長

開会の言葉

国旗儀礼

コミッショナー

協議会長挨拶

井上協議会長

スカウト紹介

コミッショナー

富士スカウト・隼スカウト

第二部 議案審議

議長選出

書記選任

佐藤総務委員会委員
中村副事務長

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 名)

事務局

出席 名 委任状 名

議案

第1号議案 令和2年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第2号議案 令和2年度決算・会計監査報告の件

事務局 会計係、
河合監事

第3号議案 地区役員改選の件

地区委員長

第4号議案 令和3年度事業計画（案）の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第5号議案 令和3年度予算（案）の件

事務局 会計係

第三部 閉会式

副協議会長 挨拶

佐々副協議会長

連盟歌演奏

国旗儀礼

コミッショナー

閉会の言葉

令和2年度事業報告

令和2年度においては、昨年度来続いている新型コロナウイルス禍により全ての活動が停滞し、本来の活動が年間を通じできない状況でした。県連方針・地区活動目標に沿ったスカウト活動ができるように計画をしましたが、計画達成をする事ができませんでした。この状況下の中で運動の存在価値を社会に明確にするべき各団の皆様方の努力には大変感謝します。地区内全体ではスカウト数比率は目標には届きませんでした。文部科学省受託事業を数個団が実施され、この停滞する機運を盛り返すべき活動がなされました。又、第3回東海4県連盟合同野営大会が延期になり、スカウトが、活動を楽しみながら自身が成長と成果を実感し意欲を高める機会が無くなり、各団の夏季長期野営も実施されることがありませんでした。この活動の基本となる野外活動が制限されおうちスカティングなど夫々日本連盟から提案のあった活動の提案を地区からも案内させて戴き活動の盛り上がりを支援しました。進歩については、関係者のご尽力で、昨年は、進級支援不足により進級がなかった富士スカウトへの進級支援させて戴きました。団運営等、継続して少人数編成の団においては近隣団との合同集会などを提案しパトローリングシステムの展開できる活動を提案し支援強化をする計画を推進する事が社会状況から行動することが制限されました、BS・VS部門への高度な野外プログラム支援、BVS・CS部門への年代別プログラム支援も目標には届きませんでした。研修所・実修所の参加研修等は継続的にトレーナーによる一貫支援を行い指導者の資質向上を目指しました。定型訓練・定型外訓練への参加を促すだけでなく自己研鑽をしながら社会人としての資質を高め、成長する事の喜びが感じられる運動を継続できることを達成するため諸研修を提供致しました。社会貢献活動目標としてSDGs、セーフ・フロム・ホームの啓蒙を重点的に推進しました。新型コロナウイルス禍の中、各団関係者の皆様方が諸事努力されたのも事に関わらず、スカウト数の増加、中途退団抑止については課題として残りました。継続課題として空白地域の岩倉市の新団発足をすることができませんでした。一部の活動が計画通り実施することができませんでした。次年度に向けて各団への支援サービスを強化し継続活動して参ります。

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 地区誌「はやぶさ」について、地区広報誌としての紙面構成改革への取り組みが充分できていませんでした。原稿依頼の年間スケジュールを立てるなど、改革への取り組みを強化します。
2. コロナ禍の影響もあり、募集活動のノウハウ共有・見学など、加盟員確保につながる取り組みができませんでした。他地区の事例も含め、ノウハウ共有を実施し、加盟員確保につなげます。
3. 日連ホームページ団情報ページは21 個団のうち5 個団しか紹介文や画像が掲載されていない状態でした。既存のサービスを最大限活用頂けるよう、各団に取り組みを依頼していきます。
4. 文科省委託事業は7 個団にて実施頂き、参加者で追加登録は5 名の結果でした。次年度も予定されていますので、実施頂けるよう案内していきます。

スカウト進歩委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 進級目標達成度、隼スカウト章取得者を各団1 名以上出す。
 - ① 富士スカウト章修得者 1 名 目標2 名 達成率 50%
 - ② 隼スカウト章修得者 5 名 目標27 名 達成率 18%
 - ③ 菊スカウト章修得者 23 名 目標39 名 達成率 59%
 - ④ 1 級スカウト章修得者 22 名 目標80 名 達成率28%数個団から団面接報告がなく、実態が反映されていません。ボーイ部門は菊の取得は昨年より増えましたが、全体的にはコロナの影響、特に1 月からの非常事態宣言で十分な隊活動が出来ませんでした。進級が遅れていると思われます。技能章の取得も隊長認定82（昨年186）考査員認定45（昨年106）と昨年の半分以下の結果です。そんな中ベンチャーは富士1 名、隼5 名と昨年を上回る進級が出来ました。但し団により取り組みに開きがあり取得団が偏っています。
2. カブブックの早期完修とビーバー小枝章5 個の取得
コロナの影響で、カブブックの完修は大幅に遅れ3 月になる団が多くなっています。
3. 技能章講習会の開催
コロナの影響で救急章1 回、パイオニアリング章1 回の計2 回と計画の3 分の1 に終わりました。参加者も12 名、9 名と非常に少ない結果でした。ただ今後も募集をベンチャーに絞り習熟度を高めていきます。
4. 定例会議の活性化
5 回開催（1 回中止、1 回リモートで開催）参加率70%で昨年を下回りました。情報交換会では色々な意見が出るようになったので、団で活用出来るようにまとめて行きます。

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 新型コロナウイルス感染、拡大防止（緊急事態宣言）により、地区内での今年度の指導者訓練は定型訓練が2回、定形外訓練が2回の開催に留まりました。
※ 定型訓練（ボーイスカウト講習会・全2回）への参加者は全43名、定形外訓練（全2回）への参加者は全26名でした。
※ 秋季の定型訓練（WBスカウトコース・団研等）への参加者が全15名でした。
2. ボーイスカウト講習会への参加数はほぼ例年並みであり、参加啓蒙の観点からは評価できます。
3. 今年度（以前の参加者も含めて）の参加者を、次の訓練（WB研修所）参加へ導く事が次年度への課題となりました。
4. 委員会の開催が十分に出来ない1年でした。次年度には、WEBの活用も含めた開催の工夫が必要です。
5. 委員会の活動を充実させるため、コミッショナー、トレーニングチームとの連携をより密にすること、また、委員全員の団委員研修所履修を目指します。

行事・国際委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

本年度は新型コロナ感染拡大に伴い、当初8月に計画した東海4県連盟合同野営大会の中止など、満足な活動が出来ない残念な年度となってしまいました。

その様な中でも

1. 国内・海外派遣事業では、海外事業1件と国内（県連）事業2件の開催情報を提供し各事業にスカウトへの参加支援ができました。
2. 各団より野舎営・県外旅行申請書の提出を受け、地区コミッショナーの確認・認可を受け県連へ送付しました。
特に今年度は、野舎営届提出と同時に、新型コロナ感染予防対策を盛り込んだ実施計画書の添付を必須とし、集会時の感染予防対策適用について確認・指導を行いました。
3. 委員会内での「セーフ・フロム・ハーム」について研修会を実施しました。併せて「SDGs(持続可能な開発目標)」についても研修しました。
4. 「緑の募金活動」や「スカウトの日活動」は各団工夫を凝らし実施していただきました。
5. 地区行事国際委員会や県連行事国際委員会は、新型コロナ感染予防のため対面式・オンライン方式を使い分けし、委員会運営に支障が発生しないよう努めました。

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

1. 今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、対面での委員会開催もままならず、また各種講習会も人数を制限して開催されました。
2. インシデント報告（ヒヤリハット報告）は、報告件数1件ですが、安全促進のため、次年度も継続してゆきます。
3. 「防災ボランティアコーディネーター養成講座」は地区から2名参加でした。
防災士の育成につきましては、講習会も中止となり、今後の課題となりました。
「全国防災キャラバン」も中止となりました。
次年度は、各種行事は継続促進し、各団の体験募集・新規募集活動等の後方支援を行ってゆきます。

尾張東地区ローバース Frontier

事業報告

総会・定例会

評価反省

1. 新型コロナウイルス感染防止のため、対面での定例会の開催に苦慮しました。途中よりオンライン会議システムを利用した開催としたため、本年度後半は計画通りの定例会の開催をすることができませんでした。また、コロナ禍における新しい生活様式に対応した会議体を構築することができたと評価しています。
2. 本年度企画をした、PRムービーの作成が、コロナウイルス感染拡大の影響で完成させることができませんでした。進捗状況は3割ほどですが、次年度中に完成できるように取り組みます。
3. 本年度に予定していた活動の多くが、コロナウイルス感染拡大により実施することができませんでした。初めての経験でしたので、どのように行動をしていいのかかわからないことが多く、結果を残すことができませんでした。本年度の経験を共有して、次年度の事業に活かしていきます。

コミッショナーグループ

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

【コミッショナー】

1. 新型コロナウイルス感染拡大により、2回の緊急事態宣言を受けて活動が自粛となり、活動もままならない状況に置かれました。おうちスカウティング、オンライン会議による集会など、様々な取り組みが行われましたが、これらを有効に活用するための手法について、十分な情報の提供、支援ができなかったと評価しています。また、コロナ禍において、各団、隊における活動しているのかの判断が明瞭でない部分があり、団により対応に違いが出たことについて、明確に行動規範を出せなかったことについて反省をしております。

2. 3TCの実施を契機に班制度の立て直しを行う予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のために延期となってしまいました。このため、班制度の立て直しの機会とBSスカウトのために令和3年8月に吉川野営場で尾張ブロックキャンポリーが開催できるように、調整をさせていただきました。スカウトが楽しく野営生活、野外活動、仲間との交流ができる場を提供できるように致します。
3. 隊長会を開催してきましたが、部門により隊長会がしっかりと研修の場になっている部門とそうではない部門の差が大きくなった年でした。このことを真摯に受け止めて、次年度以降は有意義な研修の場になるように、各部門の副コミッショナーに指導、監督を致します。
4. 地区トレーニングチームの活性化、有意義な定形外訓練の提供となるように、計画をしたつもりでしたが、コロナウイルス感染拡大の影響と従来からの問題が重なり、予定していた定形外訓練を大きく変更することになってしまいました。十分な研修の場を提供できなませんでした。
5. 本年度企画をした、PRムービーの作成が、コロナウイルス感染拡大の影響で完成させることができませんでした。進捗状況は3割ほどですが、次年度中に完成できるように取り組みます。

【BVS部門】

1. 新型コロナウイルスの影響で十分な隊活動ができない中でも、おうちスカウティングとして色々な取り組みが行われたことは、評価されることです。ただ、ほとんど何もできていない隊もあったため、その隊に対して十分にアドバイスなどの支援が不十分であったことは反省をします。
2. 感染拡大防止のため、オンライン会議と対面式の会議を並行して行いながら、隊長会を実施しました。その中で、参加者同士の話し合いなど研修の場になるように、オンライン会議ツールを活用しながら、研修の場になるように実践できたことは、今後の隊長会の一つの方式として取り入れることができると評価します。
3. SDGsとBVSのプログラムとの関連性などを中心に研修を行い、活動を行う中でも、BVSとしてしなければいけない事、目的を持った集会にすることを研修しました。

【C S部門】

1. 年間の研修計画を立て、計画に沿って隊長会の中で実施をしました。コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、当初の予定を変更し、コロナ禍での活動様式に対応させながらも研修を進めることが出来ました。
2. CS部門が抱える問題を研修課題として取り上げ、また、新型コロナウイルスに伴う自粛期間中の取組や課題についても取り上げ、部門の基礎力向上につながったと評価します。

【B S部門】

1. コロナウイルス感染拡大にともなう、非常事態宣言発出による活動自粛、3TCの延期など年度計画が実施できない状態でした。また、初めて経験することが多く、コロナウイルスの感染対策方法など、不明な点が多い中での野外活動など、非常に厳しい状況の中、活動に対してのアドバイス等を中心とした支援を行いました。
2. 隊長会の中での研修がほとんどできておらず、コロナ対応が隊長会の主要話題となってしまい、研修の場としての活用ができなかったことを反省しています。

【V S部門】

1. VS部門では隊活動の充実と進級への取り組みが大きな課題となっており、それが行われていないことが原因となる各種問題の解決を試みる1年を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で地区として具体的な行事や活動が実行できず、それら課題の解決やVSの仲間づくりを支援できなかったのは悔しいところです。
2. ラウンドテーブルを通じて隊指導者とともに、VSプログラムのポイントや進歩課目の求める基準とその支援方法についての研究を行い、コロナ下ではありますが、富士スカウト1名、隼スカウト6名が誕生したことは喜ばしい成果です。この成果を次につなげることが重要であると考えています。

【R S部門】

1. オンライン会議を活用しながらの隊長会を行いました。また、RS部門の問題点を整理し、前年度の反省を活かして年間研修計画を立てました。しかし、部門指導者の出席率が極端に悪いため、その効果は限定的であることは残念でした。

【団 担 当】

1. 緊急事態宣言により当初の予定の活動は出来ませんでしたが、危機管理アンケートを緊急実施し各団の状況を把握し緊急事態解除後速やかに活動を再開できるようエリア別団委員長会議を開催しました。
2. 団サミットを準備し各団に資料を提出頂きましたが、台風接近の延期と再度の緊急事態宣言により中止しました。
3. 団審査も資料を提出頂きましたが、中止で書類選考による審査となりました。
団サミット、継続登録団審査の中止により来年度は団訪問を強化し各団の現状を確認し支援助言を行います。

事務局

事業報告

1. 愛知連盟会議出席しました。
 - ・事務長会議
年2回 令和2年7月7日、12月4日
2. 地区委員会／団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
 - ・地区委員会 7回開催
 - ・団委員長会議 3回開催（web会議含む）
3. 会議資料作成などの事務作業を行いました。
 - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を推進しました。
4. 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集、情報交換を積極的に行いました。
地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議の出席人数の制限を行い、情報伝達に努めました。

1. 一般会計						
<収入の部>						
(単位：円)						
科 目		予 算	決 算	摘 要		
1	前 年 度 繰 越 金	445,310	445,310			
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,157,400	1,157,400	20,000×21団+600×1,229人		
3	地 区 費 (追 加 登 録)	50,000	26,800	追加登録 56人		
4	県 連 回 付 金	80,000	29,270			
	1) 訓 練 研 修 費	50,000	26,000	BS講習会		
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	3,270	緑の募金補助金		
	3) そ の 他 還 付 金	10,000	0			
5	雑 収 入	10,000	2,034			
6	積 立 金 から 取 り 崩 し	1,000,000	0	3TC 中止		
合 計		2,742,710	1,660,814			
<支出の部>						
科 目		予 算	決 算	摘 要		
1	訓 練 研 修 費	270,000	99,587			
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	30,000	647	BS講習会、各研修会支出ー参加費 (121,647ー121,000)		
	2) スカウト技能章講習会	40,000	20,940	技能章、フォーラム支出ー参加費 (41,940ー21,000)		
	3) コミッショナー研修会	200,000	78,000	コミッショナーグループ研修		
2	行 事 費	140,000	10,000			
	1) 組 織 拡 充 支 援 金	100,000	0			
	2) ベンチャー行事費	20,000	10,000			
	3) ロ ー バ ー 行 事 費	20,000	0			
3	事 業 費	900,000	483,952			
	事 業 費	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	180,000	100,637	地区機関紙(63,677)、HP維持費(36,960)	
		指 導 者 養 成 委 員 会	60,000	28,809	旅費、活動費、資料代他	
		スカウト進歩委員会	50,000	13,957	"	
		行事・国際委員会	50,000	11,598	"	
		総 務 委 員 会	70,000	5,000	"	
		コ ミ ッ シ ョ ナ ー	250,000	189,108	トレーニングチーム経費、救急チーム経費、旅費、資料代	
		事 務 局	50,000	37,878	スカウトあいち掲載料 (30,000)	
	運 営 費	会 議 費	140,000	78,430	会場使用料	
		事 務 ・ 通 信 費	20,000	18,535	振込手数料	
		慶 弔 費	30,000	0	香典	
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品		
5	大 会 関 係 積 立 金	200,000	700,000	日連、県連各大会		
6	大 会 支 援 金	1,000,000	0	3TC 中止		
7	繰 越 金	182,710	317,275			
合 計		2,742,710	1,660,814			
2. 特別会計						
科 目	前年度残高	R2 年収入	R2 年支出	次年度繰越	摘 要	
1	備 品 購 入 積 立 金	398,830	50,000	0	448,830	
2	大 会 関 係 積 立 金	1,880,000	700,000	0	2,580,000	大会準備金
合 計		2,278,830	750,000	0	3,028,830	

令和3年3月28日

監査報告書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 井上 勲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監事 河合正治 

監事 境正人 

私は、令和2年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認めます。

以上

第3号議案

地区役員改選の件

役 務		氏 名	所 属
顧問		舩 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
		横 江 昭 熹	日 進 第 2 団
協議会長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
協議会副会長		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
		河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区委員長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区コミッショナー		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
地区副コミッショナー	BVS	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	CS	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
	BS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
	VS	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
	RS	中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団
団担当コミッショナー		串 崎 武 志	春 日 井 第 10 団
		高 多 宣 彰	日 進 第 1 団
		小 林 泰 陸	春 日 井 第 4 団
		佐 藤 慶 子	春 日 井 第 2 団
		椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
		宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団

役 務		氏 名	所 属
組織・拡充委員会	委員長	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
	副委員長	渡 邊 誠	尾 張 旭 第 1 団
指導者養成委員会	委員長	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 8 団
	副委員長	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 10 団
		藤 井 孝 之	小 牧 第 2 団
スカウト進歩委員会	委員長	八 橋 隆	江 南 第 1 団
	副委員長	山 内 篤	春 日 井 第 10 団
行事・国際委員会	委員長	井 上 文 義	瀬 戸 第 1 団
	副委員長	桜 井 真 之 介	小 牧 第 1 団
		中 田 洋 二	北 名 古 屋 第 1 団
総務委員会	委員長	大 谷 茂	北 名 古 屋 第 1 団
	副委員長	田 口 澄 雄	瀬 戸 第 6 団
事務局	事務長	岩 花 竜 章	清 須 第 1 団
	副事務長	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
	会計係	志 水 幹	日 進 第 2 団
ローバース代表委員		松 原 千 怜	瀬 戸 第 6 団
監事		境 正 人	犬 山 第 5 団
		河 合 正 治	大 口 第 1 団

令和3年度地区運営方針

1 運営方針

スカウト活動を円滑に進める事ができるように、各団夫々の問題点を提起し、支援をより一層強化し活動的で自立したスカウトを育成し、社会に認められる組織として野外活動を通じ、団隊活動での規律を高め「スカウト数の増加・中途退団の抑制」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを計画的に推進し団及び委員会を支援するため、副協議会長、地区副委員長の担当制を設定する。

2 目標

(1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施

- ①中途退団者を上回る新規入団者の獲得を目指す施策を支援します。
- ②地区内における市制空白地域の解消をします。（岩倉市）

(2) スカウトが自分の成長と成果を実感し意欲を高める場所を提供し全ての団から、

「菊・隼・富士」取得者を目指します。

- ①地区目標達成に向けた対応をします。
- ②BS・VS部門への高度な野外プログラム支援の充実をします。
- ③BVS・CS部門への年代別プログラム支援の充実をします。
- ④プログラム支援を充実させ中途退団の減少を目指します。

(3) 指導者育成の充実

- ①スカウト教育法を再確認しウッドバッジ研修所・実修所の参加啓蒙をし、一貫支援（担当制）をし、指導者として資質向上を目指します。
- ②冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供できる指導者の育成をします。
- ③定型外訓練への参加を促すだけでなく社会人としての資質を高め、魅力ある指導者の養成をします。

3 重点施策

(1) 日本連盟・愛知連盟主催「海外派遣事業」・「国内事業」等に向けた支援

- ①スカウト・指導者および関連事業への支援態勢強化をします。
- ②文科省受託事業への積極的参加を啓蒙します。
- ③SCOUTS for SDGs 目標達成のために支援を推進します。

(2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進

- ①少人数団（隊）への他団との合同集会を推進します。
- ②団訪問等による団への支援を強化します。
- ③他団（他地域）の募集活動等の見学研修に向けた取組みをします。
- ④尾張ブロック野営大会参加の支援をします。

(3) 実効性のある指導者研修

- ①定型訓練・定型外訓練への参加を啓蒙し地区主催定型外訓練の充実をします。
- ②継続的にインサービス・サポートの推進をします。
- ③ラウンドテーブル（研修の場としての活用）および運営委員会の充実をします。
- ④活動に必要な外部団体資格取得を支援します。（WFA等）

(4) 危機管理体制の充実強化

- ①セーフ・フロム・ハームに関わる対策を強化します。
- ②防災士・防災ボランティアコーディネーターの養成をします。

4 各運営委員会事業計画

別紙資料の通りです。

第5号議案

令和3年度予算(案)の件

1. 一般会計						
<収入の部>						
(単位：円)						
科 目		R2年予算	R3年予算	摘 要		
1	前 年 度 繰 越 金	445,310	317,275			
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,157,400	1,125,600	20,000×21団+600×1,176人		
3	地 区 費 (追 加 登 録)	50,000	50,000	100人		
4	県 連 回 付 金	80,000	62,000			
	1) 訓 練 研 修 費	50,000	32,000	BS講習会		
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	20,000	緑の募金補助金		
	3) そ の 他 還 付 金	10,000	10,000			
5	雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等		
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,000,000	1,000,000	尾張ブロックキャンポリー		
合 計		2,742,710	2,564,875			
<支出の部>						
科 目		R2年予算	R3年予算	摘 要		
1	訓 練 研 修 費	270,000	270,000			
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	30,000	30,000	BS講習会、資料他		
	2) スカウト技能章講習会	40,000	40,000	技能章研修会、資料他		
	3) コミッショナー研修会	200,000	200,000	研修費、研修所参加費		
2	行 事 費	140,000	140,000			
	1) 組 織 拡 充 支 援 金	100,000	100,000	スカウトラリー含む		
	2) ベ ン チ ャ ー 行 事 費	20,000	20,000	議長会等		
	3) ロ ー バ ー 行 事 費	20,000	20,000	地区ローバース活動費		
3	事 業 費	900,000	880,000			
	事 業 費	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	180,000	180,000	旅費、活動費、地区機関紙、HP維持費	
		指 導 者 養 成 委 員 会	60,000	60,000	旅費、活動費、資料代他	
		ス カ ウ ト 進 歩 委 員 会	50,000	50,000	"	
		行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	"	
		総 務 委 員 会	70,000	50,000	防災キャラバン、旅費、活動費、資料代他	
		コ ミ ッ シ ョ ナ ー	250,000	250,000	地区トレーニングチーム、救急チーム経費	
		事 務 局	50,000	50,000	スカウトあいち掲載他	
	運 営 費	会 議 費	140,000	140,000	会場使用料	
		事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料	
		慶 弔 費	30,000	30,000	祝儀他	
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品		
5	大 会 関 係 積 立 金	200,000	200,000	日連、県連各大会		
6	大 会 支 援 金	1,000,000	1,000,000	尾張ブロックキャンポリー		
7	予 備 費	182,710	24,875			
合 計		2,742,710	2,564,875			
2. 特別会計						
科 目		前年度残高	R3年収入	R3年支出	次年度繰越	適 要
1	備 品 購 入 積 立 金	448,830	50,000	0	498,830	
2	大 会 関 係 積 立 金	2,580,000	200,000	1,000,000	1,780,000	大会準備金
合 計		3,028,830	250,000	1,000,000	2,278,830	

資料

令和2年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿 (取得 順)

隼スカウト

小牧第2団 気駕 典子
 春日井第10団 渡邊 多門
 三輪 浩太郎
 濱口 豪太
 春日井第2団 青木 天道

富士スカウト

小牧第2団 気駕 典子

組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/5	0%
犬山第7団	0/5	0%
大口第1団	4/5	80%
尾張旭第1団	5/5	100%
春日井第2団	5/5	100%
春日井第4団	3/5	60%
春日井第5団	5/5	100%
春日井第8団	3/5	60%
春日井第10団	5/5	100%
北名古屋第1団	2/5	40%
北名古屋第2団	5/5	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/5	80%
江南第1団	1/5	20%
江南第3団	5/5	100%
小牧第1団	2/5	40%
小牧第2団	4/5	80%
瀬戸第1団	5/5	100%
瀬戸第6団	4/5	80%
長久手第1団	0/5	0%
日進第1団	2/5	40%
日進第2団	5/5	100%
平均出席率		66%

スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	1/5	20%
犬山第7団	4/5	80%
大口第1団	1/5	20%
尾張旭第1団	4/5	80%
春日井第2団	5/5	100%
春日井第4団	3/5	60%
春日井第5団	5/5	100%
春日井第8団	2/5	40%
春日井第10団	5/5	100%
北名古屋第1団	3/5	60%
北名古屋第2団	2/5	40%

	出席/開催	出席率
清須第1団	0/5	0%
江南第1団	5/5	100%
江南第3団	4/5	80%
小牧第1団	5/5	100%
小牧第2団	5/5	100%
瀬戸第1団	5/5	100%
瀬戸第6団	5/5	100%
長久手第1団	0/5	0%
日進第1団	5/5	100%
日進第2団	5/5	100%
平均出席率		70%

指導者養成委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/1	0%
犬山第7団	1/1	100%
大口第1団	0/1	0%
尾張旭第1団	1/1	100%
春日井第2団	1/1	100%
春日井第4団	1/1	100%
春日井第5団	1/1	100%
春日井第8団	1/1	100%
春日井第10団	※2/2	100%
北名古屋第1団	0/1	0%
北名古屋第2団	1/1	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	1/1	100%
江南第1団	0/1	0%
江南第3団	1/1	100%
小牧第1団	0/1	0%
小牧第2団	1/1	100%
瀬戸第1団	1/1	100%
瀬戸第6団	※1/2	50%
長久手第1団	※2/2	100%
日進第1団	※2/2	100%
日進第2団	0/1	0%
平均出席率		59.6%

※定形外訓練奉仕者のみ1回開催（春日井10、瀬戸6、長久手1、日進1）

行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/3	0%
犬山第7団	1/3	33%
大口第1団	0/3	0%
尾張旭第1団	0/3	0%
春日井第2団	2/3	67%
春日井第4団	3/3	100%
春日井第5団	3/3	100%
春日井第8団	2/3	67%
春日井第10団	2/3	67%
北名古屋第1団	2/3	67%
北名古屋第2団	3/3	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	1/3	33%
江南第1団	3/3	100%
江南第3団	0/3	0%
小牧第1団	2/3	67%
小牧第2団	3/3	100%
瀬戸第1団	3/3	100%
瀬戸第6団	1/3	33%
長久手第1団	0/2	0%
日進第1団	1/3	33%
日進第2団	3/3	100%
平均出席率		55.5%

総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/1	0%
犬山第7団	0/1	0%
大口第1団	0/1	0%
尾張旭第1団	1/1	100%
春日井第2団	1/1	100%
春日井第4団	1/1	100%
春日井第5団	1/1	100%
春日井第8団	1/1	100%
春日井第10団	1/1	100%
北名古屋第1団	1/1	100%
北名古屋第2団	1/1	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	0/1	0%
江南第1団	0/1	0%
江南第3団	0/1	0%
小牧第1団	1/1	100%
小牧第2団	0/1	0%
瀬戸第1団	1/1	100%
瀬戸第6団	1/1	100%
長久手第1団	0/1	0%
日進第1団	1/1	100%
日進第2団	0/1	0%
平均出席率		57.1%

■ラウンドテーブル出席表		2020 尾張東地区										2020 尾張東地区																					
		BVS					CS					BS					VS					RS											
隊名	出席率	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回		
		出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率	出席率		
犬山5	40	X	0	X	0	X	0	0	X	0	X	X	0	X	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
犬山7	80	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
犬山1	80	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
江南1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
江南3	0	X	X	X	X	X	0	0	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
北名古屋1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
北名古屋2	40	X	0	X	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
清須1	0	X	X	X	X	X	0	0	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
小牧1	40	0	0	X	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小牧2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
春日井2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
春日井4	60	0	0	0	X	X	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
春日井5	80	0	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
春日井8	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
春日井10	80	0	0	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
瀬戸1	80	0	0	0	0	X	0	0	0	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
瀬戸6	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
尾張旭1	40	X	0	X	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長久手1	0	X	X	X	X	X	0	0	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
日進1	0	X	X	X	X	X	0	0	0	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日進2	60	0	0	X	0	X	0	0	0	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
隊数	21						21					21					21					21											
出席数	12	17	11	14	10	64	0	0	0	15	10	12	47	-	12	-	13	-	10	15	17	67	13	11	17	16	13	14	14	98	6	4	10
出席率	57	81	52	67	48	61	0	0	0	71	48	57	56	-	57	-	62	-	48	71	81	58	62	52	81	72	62	67	61	29	19	24	

「-」は隊登録がないことを示す

令和2年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	たか章	平野嘉彦	北名古屋第1団
	かっこう章	岩花竜章	清須第1団
	特別年功章	5年	9名
		10年	5名
		15年	8名
		20年	5名
	隊褒章綬	5年	尾張旭第1団ローバー隊
		30年	日進第1団 ローバー隊
			小牧第1団 ビーバー隊
			春日井第2団 ビーバー隊
			春日井第10団 ビーバー隊
		35年	江南第3団 ベンチャー隊
			日進第1団 ベンチャー隊
			小牧第2団 ベンチャー隊
			春日井第4団 ビーバー隊
			春日井第10団 カブ隊
		40年	北名古屋第2団 ボーイ隊
			長久手第1団 カブ隊
			春日井第5団 ベンチャー隊
		45年	大口第1団 ボーイ隊
日進第1団 カブ隊			
55年		清須第1団 ベンチャー隊	
	北名古屋第1団 カブ隊		
	春日井第2団 カブ隊		
60年	北名古屋第1団 ボーイ隊		

愛知連盟	県連感謝状	河村みき	北名古屋第1団 ローバー隊長 夫人
	県連特別有功章	高橋謙治	清須第1団 団委員長
	県連有功章	竹山 勉	小牧第2団 ベンチャー隊長
		青木正士	春日井第4団 副団委員長
		小林弘幸	春日井第8団 ボーイ隊長
		河合美知子	小牧第1団 団委員
		堀 晃司	北名古屋第1団 団委員
		石川佳祐	江南第1団 ベンチャー隊長
		小野尚子	江南第1団 ビーバー隊副長
		水谷隆洋	江南第1団 カブ隊副長
		中村一徳	春日井第5団 副団委員長
		青山美智代	江南第1団 ビーバー隊副長
		伊藤宏子	江南第3団 カブ隊副長
	顕彰記章	伊藤獅苑	瀬戸第6団
伊藤 陽		春日井第4団	

トレーニングチーム/救急チーム/WEBチーム

尾張東地区トレーニングチームメンバー

			NO	役 務	氏 名	所 属 団	
地区トレーニングチーム	県連トレーニングチーム	日本連盟	1	リーダートレーナー	中村倫之	小牧第1団	
			2	リーダートレーナー	林由美子	尾張旭第1団	
			3	リーダートレーナー	中谷 洋	小牧第1団	
			1	副リーダートレーナー	森 裕次	瀬戸第6団	
			2	副リーダートレーナー	椎葉育美	江南第3団	
			3	副リーダートレーナー	中村友一	北名古屋第2団	
			4	副リーダートレーナー	中谷真里	小牧第1団	
			5	副リーダートレーナー	日比野 良治	江南第3団	
			6	副リーダートレーナー (地区トレーニングチーム チーフ)	鈴木 覚	春日井第5団	
			7	副リーダートレーナー	山口貴美江	春日井第10団	
			8	副リーダートレーナー	古木啓介	小牧第1団	
			9	副リーダートレーナー	小林弘幸	春日井第8団	
			10	副リーダートレーナー	宮下彰洋	犬山第7団	
						1	県チームスタッフ
				2	県チームスタッフ	河村武人	北名古屋第1団
				3	県チームスタッフ	植木治雄	北名古屋第1団
				4	県チームスタッフ	栗本雅仁	小牧第1団
				5	県チームスタッフ	古川秀晴	犬山第7団
				6	県チームスタッフ	石川圭祐	江南第1団
				7	県チームスタッフ	小川恭平	瀬戸第1団
				8	県チームスタッフ	中川大輔	北名古屋第1団
				1	地区チームスタッフ	石原昌幸	江南第3団
				2	地区チームスタッフ	小林香織	春日井第8団
				3	地区チームスタッフ	佐藤 精	日進第2団
				1	アドバイザー	伊吹登	長久手第1団
				2	アドバイザー	岩田秀雅	春日井第8団

※休務者は記載しておりません。

尾張東地区救急チームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	チーフ	片 谷 文	春 日 井 第 5 団
2	サブチーフ	続 木 雅 子	春 日 井 第 4 団
3	事務局	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
4	チーム員	小 川 万 里 子	瀬 戸 第 6 団
5	チーム員	藤 井 孝 之	小 牧 第 2 団
6	チーム員	船 橋 菜 月	春 日 井 第 2 団
7	チーム員	松 原 彩 香	瀬 戸 第 1 団
8	アドバイザー	杉 本 京 子	犬 山 第 5 団
9	アドバイザー	小 林 泰 陸	春 日 井 第 4 団
10	アドバイザー	串 崎 武 志	春 日 井 第 1 0 団
11	アドバイザー	伊 佐 治 知 加 子	

尾張東地区WEB チームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	スタッフ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
2	スタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 活動報告

組織拡充委員会 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		組織拡充委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和3年4月～令和3年3月)
目(1)1	地区誌はやぶさの発行及び投稿支援 スケジュール化	年3回(7月、10月、3月)発行	発行スケジュール見直し(7月中止、11月・4月の2回発行) 原稿担当ローテーション見直し	原稿依頼(11月発行分原稿6切10/11、4月発行分原稿6切は3月末予定)	11月発行し11月15日地区委員会にて配付。次号原稿3月末6切	4月発行は中止。次号原稿7月末6切予定。紙面構成見直し予定。	年3回予定が実績1回の発行となった。今後、紙面構成・表紙原稿依頼について計画的に取り組みます。
目(1)2	地区ホームページ・フェイスブックページの運営	WEBチームにて随時更新	依頼都度WEBチームにて更新	依頼都度WEBチームにて更新、また、委員会資料のパスワード制限付き掲載打診があり準備実施	依頼都度WEBチームにて更新	依頼都度WEBチームにて更新	今期は更新頻度が低かったが、各運営委員会との連携を強化して更新していきます。
目(1)3	講演会の実施	講師選任・日程・会場確保	講演開催が難しいため、代替案検討	代替案継続検討	コミュニケーションの問題を解決できる手法・事例を調査	講演動画について調査し、DVD配付を検討	模索が続いた状態であった。オンライン開催・データ配付も選択肢に翌年度実施できるよう進めます。
目(1)4	集票ツールの制作	内容・予算検討、製作	2018年度作成のクリアフォルダ処理検討、日本連盟団情報ページの更新依頼、SNS使いこなすノウハウ集検討	2018年度作成のクリアフォルダ処理検討、日本連盟団情報ページの更新依頼、SNS使いこなすノウハウ集検討	クリアフォルダ各団40枚配付実施、日本連盟団情報ページの更新依頼、Facebookページ作成マニュアル作成計画	日本連盟団情報ページの更新依頼、Facebookページ作成マニュアル作成検討	日本連盟団情報ページ更新を継続して依頼しているが1個団のみ更新と、成果が上がっていません。簡単にできるPRのため推進していきます。
目(1)5	他団との合同見学会等の開催に向けた取組み	内容検討	各団の情報収集	各団の情報収集	各団の情報収集	各団の情報収集	文科省委託事業の情報共有が不足した。来期は情報共有を推し進めます。

スカウト進歩委員会 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		スカウト進歩委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)
目(2)①	各団より1名以上の単章取得者を出すよう支援する	バンチャー部門への支援を拡充する	5月1名取得		10月3名取得 富士1名取得	単1名	コロナ禍にも関わらず昨年よりも多い進級となりました。ただ高3の単取得が多い為早くからの単挑戦を促していきます。
	各級別目標を管理し月ごとの団面接報告に基づき進捗を確認目標達成を目指します	月毎に集計し報告	初級28名、2級6名、1級0、菊4名、単1名	初級30名、2級14名、1級4、菊6名、単1名	初級30名、2級16名、1級6名、菊12名、単4名、富士1名	初級33名、2級20名、1級24名、菊23名、単5名、富士1名	1月の非常事態宣言より活動が止まった為、進級も止まったままで大幅に少ない進級となりました。
目(2)②	カブ完修の調査で早期完修を促し、小枝章5個取得の集計をし木の葉章の取得を増やします	カブ、ビーバー部門の進捗にも注力する		団により完修出来たスカウト数名あり			1月の非常事態宣言より活動が止まった為、完修も大幅に遅れました。
目(2)③	技能章講習会を通じスキルアップを図ります	年6回技能章講習会の実施	6月救急章講習会中止		10/18救急章講習会12名参加 10/25バイオニアリング講習会9名参加	茶道章、救急章講習会中止	コロナ感染増加の影響で講習会は2回実施したのみ。また講習会参加者の取得申請が少ない
目(3)③	運営委員会の中で情報交換会を実施し各団の問題点を出し解決の方策を探る	隔月の運営委員会で討議報告	中止	8月 コロナ禍のスカウト進級について	10月 来期の技能章講習会について 2月 スカウト進歩委員会のSTGsについて	2月リモートでの開催、次年度の目標等決定	5回実施するも出席者減少しました。
	全ての委員に技能章講習会への奉仕を通じスキルアップと責務実行を求めます	講習会への奉仕			2回の講習会とも隊長の参加訪問が増えました。	講習会中止	相変わらず奉仕者は偏っています。

指導者養成委員会 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		指導者養成委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)
目(3)①	指導者育成の充実	ウッドバッジ研修所・実修所参加者へのインサービス・サポートをコミッショナーと協働して行い、「スカウト教育法」の再確認が出来る学習環境を整えます。		・9月6日 BS講習会開催(参加者31名)	・10月31日～11月3日(WBスカウトコース12期)参加者3名支援 ・10月31日～11月3日(WBスカウトコース13期)参加者3名 ・11月20日～23日(WBスカウトコース14期)参加者2名参加 ・11月21日～23日 団委員研修所 参加者2名 ・11月21日～23日 団委員実修所 参加なし ・11月29日(WB課程別研修BVS・CS)参加者4名 ・12月6日(WB課程別研修BS・VS)参加者1名	・3月14日 BS講習会開催(参加者23名)	・4月～8月までの定型訓練はすべて中止となりました。 ・9月以降、指導者訓練が再開され、地区内ではBS講習会2-11及び2-17が開催でき、参加者計54名となりました。
重(3)③	指導者育成の充実	定型外訓練の「訓練内容・目標」をより明確にし、参加希望者への迅速な伝達を行い、研修環境の向上を図る中で魅力ある指導者の養成を目指します。	・5月24日 DL研修会・・・CS・RTでの開催 ・6月6日～7日 スカウトスキル研修会・・・延期	・7月5日 アウトドア研修会・・・中止 ・7月19日 ゲーム&ソング研修会・・・延期 ・9月27日 BS部門研修会・・・延期	・10月17日 特別講演会・・・中止 ・11月15日 スカウトスキル研修会・・・中止 ・12月6日 ゲーム&ソング研修会開催参加者6名	・1月9日 BS部門研修会 参加者 20名 ・SDGs 学習会 1月9日中止 1月17日中止	・今年度開催が出来た定形外訓練は全2回のみとなりました。
重(4)①	定型外訓練の啓蒙と定型外訓練の充実	定型訓練・定型外訓練への参加啓蒙の為、各団内指導者の研修履歴を確認するなど、訓練参加への意欲向上並びに、参加機会の提供を推進します。	・4月19日 第1回委員会・・・中止(資料メール配信) ・6月28日 第2回委員会・・・中止(資料メール配信)	・8月23日 第3回委員会・・・主要スタッフでの開催(BS講習会準備・資料メール配信)	・10月4日 第4回委員会・・・主要スタッフでの開催(資料メール配信) ・12月20日 第5回委員会開催	・2月14日、第6回委員会開催。	・全団、全指導者の、研修実績の確認を継続します。
	インサービス・サポートの推進	インサービス・サポートを充実させるべく、トレーニングチームと協働し、指導者への支援効果を高めます。			・10月4日 第4回委員会にトレーニングチームチーフが参加(定型外訓練の目標・目的を確認)		

行事・国際委員会 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		行事・国際委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)
目(1)	海外・国内派遣事業等を各団への広報と参加者への支援をします	大会実施要項に基づき参加者への広報と参加に向けた支援を行います。	新型コロナ感染拡大に伴い、予定行事中止 中止行事：4月開催、韓国緑化推進事業	新型コロナ禍により行事予定なし	・韓国連盟「国際デジタルジャンボリー2020」に小牧第1団VS1名参加 ・下記事業の実施要項を各団へ配布しました。 (1) R3/3/13-15 愛知0-ハ-ムト2021 (2) R3/3/25-28 愛知117ド-ハ-ムト2021	・「ローバームート2021」参加希望者の申請書を県連送付、参加に向けて支援しました。 ・「A-HAD2021」活動結果を記載します参加希望者に対し地区面接を実施、参加申請書を送付、参加に向け支援しました。	計画通り実施完了しました。 海外事業1件と国内(県連)事業2件の開催情報を提供し各事業にスカウトの参加支援ができました。
	第3回東海4県連盟合同野営大会の支援、参加者への対応をします	大会実施要項に基づき参加者への広報と支援を行います。	新型コロナ感染拡大に伴い、今年度の開催は中止 令和6年(2024年)に変更			尾張ブロックキャンボリー基本実施要項(案)を各団へ配布	令和3年度は新型コロナ感染防止対応のため、大会中止となってしまいました。 次年度開催予定尾張ブロックキャンボリー開催に向け支援します。
目(4)	危機管理体制の充実強化	{野舎営届}(県外旅行申請書)の提出管理 提出状況を地区委員会等で報告します。	新型コロナ禍により舎営等禁止	新型コロナ禍により8月末までは舎営等禁止 9月より活動解禁	12月20日、第5回目委員会時に提出状況確認	3月21日、10-7地区委員会時に3月17日現在の提出状況報告	計画通り実施完了しました。 各団より提出された届出書記載事項を確認し県連へ提出するとともに地区委員会でも報告しました。
		[セーフ・フロム・ハーム]を励行します。			12月20日、第5回目委員会時に研修実施 「SDGz」についても研修		計画通り実施しました。
		「緑の募金」活動			コロナ禍の中 21個団中11個団活動実施 (募金額100,629円)		新型コロナウィルスのため未実施団もありましたが、計画通り実施完了しました。
		「スカウトの日」活動			コロナ禍の中 21個団中13個団活動実施		新型コロナウィルスのため未実施団もありましたが、計画通り実施完了しました。

総務委員会 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		総務委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)
重(3)③	委員会の充実	委員会の充実－インシデント報告の地区内水平展開の継続展開をします。			10月1件	3月0件	新型コロナウィルス感染防止等のため、活動自粛の影響で報告件数も減りましたが、継続してゆきます。
目(4)	危機管理体制の充実強化を図ります。	各団内の危機管理体制及び連絡網の完備を促進します。					各団(各隊)の危機管理体制連絡網の整備を促進しました。
目(4)②		①防災ボランティアコーディネーター養成講座への参加者3名以上を目標とします。		7月開催が11月に延期。各地区2名参加で実施予定。	10月参加者募集。11月2名参加。		参加者2名で、防災意識向上につなげることができました。
		2 防災士の育成をします。(講習会開催等の情報収集と展開)	新型コロナウィルス感染防止のため、今年度の講習会は中止となりました。				講習会が中止となり、防災士の育成ができませんでした。
		③ 「全国防災キャラバン」開催予定します。(春日井または、長久手)	新型コロナウィルス感染防止のため、今年度の講習会は中止となりました。				今年度は中止となりましたが、次年度は開催予定です。

地区ローバース 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		地区ローバース 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度締括まとめ	
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)	
地区ローバース	RS対象の活動および情報交換	定例会の開催を通じ、日本連盟・愛知連盟主催事業の情報交換を行い、各事業の参加率を高めます。	COVID19の影響により定例会の開催スケジュールを第2四半期以降に変更した。	8月に定例会を実施し、各種行事の案内・活動報告を行った。	10・12月に定例会を実施し、各種行事の案内・活動報告を行った。	2月に定例会を実施し、各種行事の案内・活動報告を行った。	新型コロナウィルスの影響で対面による定例会の開催が思うように出来ませんでした。Web開催に切り替えて対応し、情報交換等についてはしっかりと行う事出来ました。	
		スカウト技能を鍛錬するプログラムを実施することで、VS以下の各隊に対する指導力の向上につなげます。	—	—	—	今年度はCOVID19の感染拡大があったため、年間を通して満足に取り組むことができなかった。	新型コロナウィルスの影響で、対面による集いに制約を受けたため、成果を出すことができませんでした。	
		セーフ・フロム・ハームに対する理解を深めます。 防災キャラバンの運営を通して、防災に対する理解を深めます。	—	—	—	—	県連のローバースカウト向けのセーフフロムハームセミナーにローバースカウトが参加した。	SFHのセミナーに参加した以外、ほとんど取組を行う事ができませんでした。
		地区ローバースの活動の広報の一環として、SNSやFacebookなどの取り組みを強化します。	—	定例会の開催を前に、オンラインを活用して事前イベントを展開した。	定例会の開催を前に、オンラインを活用して事前イベントを展開した。	—	—	活動を対外的に発信することができていけませんので、次年度の課題として取り組みたいと思います。

コミッショナー 各四半期活動報告

令和2年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区		地区コミッショナーグループ 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(令和2年4月～令和3年3月)
U I I		第3回東海4県連盟合同野営大会への支援を行う	COVID19により3TC関連の事業を停止。	大会中止決定のため、尾張SCのクロージングを実施。次年度に代替案として尾張ブロックキャンボリー実施に向けて調整を実施。	ブロックキャンボリーの開催要項案の策定	キャンボリー開催に向けての調整等を実施	3TCの延期に伴い、次年度に尾張ブロックキャンボリー開催を企画し、令和3年8月に新城吉川野営場で開催予定としました。
		組、班制度を活用し、楽しいスカウト活動が行える環境の整備とスカウトおよび保護者の活動、個人の成長における満足度向上を図る。	COVID19に伴う非常事態宣言による集合スカウト活動自粛のため、オンラインやおうちスカウティングの推奨、自粛中の活動に対する文書等の発信を実施。	7月は感染の再拡大により、活動の多くが自粛。8月中旬過ぎより徐々に通常に戻りつつあるが、通常通りまで回復せず。新しい生活様式による活動形態を確立することを優先し、文書等を発信。	感染防止対策を講じたキャンプの承認、指導を実施。様々な制限下でのスカウト活となり、組・班制度の指導ができていない。	緊急事態宣言下の再発例により実施ができていない。	2回の緊急事態宣言発令と夏場の感染拡大は、組・班制度の活用以前に、スカウト活動の危機であったため、こちらへの対応に追われてしまいました。そのため活動の満足度を考えると厳しい評価であると評価しています。
		地区TT員のOJTによる資質および技能の向上とインサービス・サポートの強化	8月末まで地区定形外訓練を自粛。	8月末まで地区定形外訓練を自粛。9月以降の定形外訓練を再策定、	本年度初めての定形外訓練を実施し、スタッフへのOJTを実施した	地区TT、トレーナーによる会議を実施し、次年度以降の定形外訓練について協議を実施	コロナウイルスだけの問題ではなく、地区トレーニングチーム委員の資質が低下しているのではないかと感じています。その結果として、予定していた事業計画の一部を中止、変更をせざるを得ませんでした。
		RTを実効性のある研修の場とする。	COVID19に伴いRTを中止。VS部門はオンラインで一部実施。	9月度のRTを実施するが、コロナの影響のため、一部オンラインで実施するなど、各部門毎に対応が分かれた。BVS、CSについては研修の場として成立している。VSもオンラインを組み込みながら研修を実施しているが、部門における課題点を意識した研修にはなっていない。BSのRTにおいては、研修の場となっておらず、ただの連絡会議であるため、研修の場になるように改善を指示。	対面、オンラインでのRTを実施。オンラインでの研修については、研修内容の精査が必要だと理解した。		緊急事態宣言発出のため、予定していた隊長会の回数を実施することができませんでした。隊長会をWebを利用した会議との併設など、新しい取り組みがされたことは評価しています。ただし、研修計画が曖昧であったり、連絡事項のみの隊長会が行われるなど、コロナの影響に関係のない、運営側の問題を認識をさせられました。
		外部教育機関、支援協会等による講習、研修への企画と支援を行う。	COVID19の影響により活動停止	SDGsに関連する取り組みに関する研修をコミGで2名研修参加。地区内での基礎的な考え方の講習会を企画。	SDGs講習会実施に向け調整	緊急事態宣言により、2回予定していたSDGs講習会を延期した。	本年度、予定していた講習がすべて中止、延期となり、実施することができませんでした。
		SFH研修と地区内既定の運用により、SFHを遵守する取り組みを行う。	COVID19の影響により未実施	COVID19の影響により未実施。	COVID19の影響により未実施。	COVID19の影響により未実施。	COVID19の影響により未実施。
B V S	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	ラウンドテーブルの研修において、ワクワクドキドキするプログラムの立案ができるよう支援します。	COVID19の影響によりRT開催をとりやめた。	オンラインとレディヤンとの同時開催。SDGsについてプログラムはどうやって取り入れるかの研究を行った	オンラインとレディヤンでの同時開催。SDGsについて引き続きプログラムと関連させて取り入れる方法の研究を行った。	オンラインとレディヤンでの同時開催予定。年間の反省などを行い、次年度のRTで行いことの二つの洗い出しを行った。	SDGsに絡めたプログラムの開発を行なった。プログラムとSDGsの関連性については理解してもらえたと思っています。
		エリアごとのピーパーラリーが実施できるように各種支援を行います。	COVID19の影響により未実施	オンラインとの併用になり、RTの中で会議を持つことが難しいため、各エリアでの担当を決め、エリアごとに意見を集約してもらうようにした。次のRTで大まかな企画を出してもらう。	各エリアの企画案を提出してもらった。	COVID19の影響により中止。	ピーパーラリーについては北エリア、中エリアは中止。東エリアは緊急事態宣言が予定より早めに解除されたため実施という結果になりました。コロナ禍でできるかわからない中で、計画してもらった隊長には感謝する。募集と絡めたピーパーラリーの展開の仕方については来季以降も協議しながら行なっていきます。
		定型訓練（3名以上）、定型外訓練（15名以上）への参加を促し、修了後も継続的な支援を行います。	COVID19の影響により未実施	定型訓練に2名参加予定。地区の定形外は未実施。	特になし	特になし	予定人数には達することはできませんでした。コロナ禍で定型訓練、定形外訓練が一部中止になったこともあり難しかった。来季以降も参加の促し、支援を行なっていきます。
C S		カブスカウトのやくそくとカブ隊のさだめについて、スカウトの成長に寄与できるように適切な指導ができるよう取り組みます。	コロナ禍における活動自粛に伴う「おうちスカウティング」において、「やくそくとさだめ」を店頭に展開していただけるように依頼をしました。	9/27 対面でのラウンドテーブルで、各団の活動における工夫の中で、指導者が意識して実施することを確認しました。	11/15 対面でのラウンドテーブルを実施し、宿泊を伴う活動時における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考察し、それらの中からこの年代が自ら実施できるような指導・支援を協議しました。	1/17 オンラインビデオ会議にてラウンドテーブルを実施し、「対班競点」における「やる気・励み」のツールのひとつとして各団の表彰グッズを紹介していただき、それらを活用するにあたっての方針を共有しました。3/21 部門の見直しに関する意見交換と次年度以降の計画について協議しました。	集会だけでなく学校や地域（自宅）においても、スカウトとしてあるべき姿は変わらないことに、指導者だけでなく、スカウトや保護者も再確認できたと考えられます。
		この年代の特性を理解し、進歩制度のねらいを教授した。組集会から隊集会までの楽しいプログラムを実施、展開できるように研修、研究を実施します。	コロナ禍における活動自粛に伴い、対面でのラウンドテーブルを実施しませんが、メールでの活動報告にコメントを入れて個別に支援をし、全体共有を図りました。	9/27 対面でのラウンドテーブルを実施し、各団の活動報告ならびに予定を確認しました。その中から、プログラムならびに進歩における「ヒント」の共有をしました。	11/15 対面でのラウンドテーブルを実施し、宿泊を伴う活動時における新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しつつ、組活動の中でできるスカウトの役割を考察しました。	12～1月 各団の進歩状況の確認をさせていただき、次年度の繰り越し部分があっても完修できるように共有をしました。	活動自粛の中、個別に対応したり、リモートで交流を図ったりと、工夫ある実施をしました。どのような状況でも、スカウトたちは元気に楽しむものであることを再確認できたことは、次年度以降の活動の励みになると考えます。
		近隣の隊との合同隊集会が、プログラムプロセスに則った実施ができるように支援をします。	コロナ禍における活動自粛に伴い、支援ならびに推進を実施しませんでした。	社会情勢を鑑み新しい生活様式を考慮した活動再開における意見ならびに情報交換をしました。	各団の活動再開を主眼としたため、定例で実施している団以外での推進をしませんでした。	コロナ禍における活動自粛に伴い、支援ならびに推進を実施しませんでした。	活動自粛に伴い、積極的な推進をしませんでした。合同隊集会への考察やプログラムのヒントなど、できることを取り組むべきでした。
		年代と活動に応じたセーフ・フロム・ハームへの取り組みを推進します。	コロナ禍における活動自粛の中でも、スカウトの権利が守られるよう依頼をしました。	問題は報国されていませんが、意識して取り組んでいる訳ではないため、考察が必要と考えられます。	「おうちスカウティング」を再考しつつ、保護者、スカウト、指導者、各々に配慮するべき事項などを意見交換しました。	進歩確認の中で、宿泊を伴う活動において、指導者の配置に苦慮されている団があり、活発な活動を実施するための取り組みを考察していくことを確認しました。	活動計画だけでなく、活動中も意識的に取り組んでおり、今後も怠ることなく継続できるように考察ならびに支援をしていきます。

B S		ラウンドテーブルにおいて、共通、総合理解を深めると共に、指導者として、進級・進歩に必要なスキル研鑽を展開致します。(頻度：8回/年予定)	COVID19の影響によりRTを実施できていないため研修ができませんでした。	オンラインでの試行的なRTであったため研修は行えませんでした。	ラウンドテーブルにおいて、「進級・進歩」及び「新型コロナウイルスにおけるプログラム研究」を展開した。(11/23_会議方式)	ラウンドテーブルにおいて、今年度の年間プログラムの評価及び次年度の年間プログラム」の研鑽について調整を図り、今後、更なる展開調整を進めていく。	COVID19の影響により、各隊の活動が停滞または消極化したため、一部進級、進歩に関する支援は行ったが、十分なスキル研鑽は行うことができませんでした。
		スカウトにとって魅力ある活動が展開できるよう3TCに向けた支援及び大会終了後も近隣団が広域的かつ集約した複数班で活動できるよう支援致します。	COVID19の影響で3TCが中止になったこと、活動自棄のため支援できませんでした。	具体的な取り組みは行えませんでした。	尾張ブロックキャンボリー(3地区合同)の構想案が提案されるが、新型コロナウイルスで進展はなかった。	尾張ブロックキャンボリーに向けて隊編成(案)について調整を図り、今後、更なる展開調整を進めていく。	尾張ブロックキャンボリーの企画(案)が持ち上がったが、BS部門として、十分な方向性を定める事ができなく、残念でした。
		スカウト教育に沿ったスカウトが活動が、スカウト自身で自立した活動を促すと共に、確実な進級、進歩が達成できるよう支援致します。	COVID19の影響で活動自棄のため支援できませんでした。	具体的な取り組みは行えませんでした。	ラウンドテーブルにおいて、隊長承認の技能章(通徳、計測、観察)の進級課題について研鑽を行い、進級、進歩につながる支援を展開した、	新型コロナウイルスでの活動事例研究を踏まえ、班長訓練や班長会議の重要性を再確認し、年間プログラムへ反映できるように支援を行った。新型コロナウイルスの状況であるが、菊スカウトが23名誕生(予定数を含む)した。	COVID19の影響により、十分な支援を展開できず残念でした。
V S	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	ラウンドテーブルの研鑽において、単・富士章の各進歩課題終了に向けた、各項目の取り組みレベルや具体的プログラム・活動について研究し、スカウトの進級に結び付くよう隊長を支援します。	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等により実質的な活動ができなかったが、日本連盟からの進歩に関する特例措置等の周知に努め、進歩の取り組みが停滞しないよう取り組みました。また各隊でオンラインを活用した隊会議の情報を収集し、共有しました。	9月RTでバイオニアリングに関する技能の研修を行い、10月末のバイオニアリング章講習会の事前指導に役立て、スカウトのバイオニアリング章取得に貢献しました。	11月RTで単章課題について、直前に地区面接をしたスカウトのレポートの研究を行い、スカウトにどんな成長を求めるのか、そのためにどのようなアプローチが必要かを議論し、共通理解を深めました。	緊急事態宣言により、1月のラウンドテーブルは中止しましたが、メールを利用した情報提供により、隊長の支援を行いました。また、富士スカウト章の取得に向けた隊長の支援や、富士スカウトの顕彰参加等、取得後の活動について、指導隊長の支援を行いました。	新型コロナウイルスの影響はあったものの、地区として富士スカウト1名、単スカウト6名の進級がありました。指導のポイント等の共有をRTを通じて隊長の皆さんと行うことが出来たので、次年度以降の進歩・進級の活性化につながる活動を行うことができました。
		個別の隊訪問と進歩状況分析を踏まえ、個々の隊や隊長に対する支援を強化し、各隊でのベンチャー活動活性化に努めます。	新型コロナウイルス感染拡大により、隊訪問はできませんでした。隊所属人数や進級・進歩状況については、アンケートにより情報収集を行いました。	富士章の今年度取得を目指すスカウトがいる隊長と連携し、課目修得に向けて支援を行いました。特に「地区以上の行事奉仕」の達成が難しいという声を聞き、県連に奉仕行事の実施を働きかけて実現いただき、2名を参加させました。	富士章取得希望のスカウトの指導隊長を支援し、1名の富士スカウトが誕生しました。また、単章の取得に向けてプロジェクト等の取り組みにかかる隊長への個別支援を行い、3名の単スカウトが誕生しました。	個別の隊訪問は実施できませんでした。地区全部門で行った新型コロナウイルスにおける活動状況の調査により、各隊の活動状況を把握し、日本連盟・愛知連盟等の活動にかかる通知の情報提供とともに、VS部門としてスカウトへの支援方法の助言を継続して行いました。	富士章・単章の取得支援、フォーラム参加支援、ハイアドベンチャープログラム参加支援の分野において、スカウトを直接指導・支援する隊指導者の支援を行うことが出来ました。地区としての進歩状況分析が中途半端になっていますが、次年度も継続し、当地区VS部門の進歩の強み・弱みを明確にし、対策をしていきます。
		3TCへの参加や地区スカウトフォーラム、地区ベンチャー活動を通じて、地区内スカウト同士が継続して交流を持てる場づくりを戦略的に実行し、「次につながる仲間づくり」を支援します。	3TCが中止となり絶好の機会を失いましたが、地区スカウトフォーラムは地区内6か所に分散してオンラインでつなぐ方法での実施する方向で、準備を進めました。	地区スカウトフォーラムの分散+オンライン実施に向けて準備を進めましたが、7月末からの「第2派感染拡大」により、中止とし、代表選出のみを行いました。そのため、第2四半期内で地区内VSたちの交流の場を持つことができました。	県連スカウトフォーラムに参加したスカウトのプロジェクトを個別に支援し、12月22日に行われた県連盟アフターフォーラムに向けた取り組みを支援しました。第4四半期での地区アフターフォーラムを計画します。	地区内でのアフターフォーラムの実施は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、次年度早期に行うことに変更しました。また愛知連盟が主催するVS対象行事「ハイアドベンチャープログラム2021」に2名のスカウトの参加希望があり、スカウトおよび支援指導者の支援を行いました。	新型コロナウイルスの影響により、具体的な活動の場が奪われてしまったため、目標が達成できませんでしたが、地区内スカウトが「仲間」となり、次につながる友情を築くことが出来るよう、次年度も引き続き「場の確保」に努めていきます。
		VS部門の高度な野外活動プログラムの充実の1つとして、地区内VS隊長とともに「地区合同雪中キャンプ」の実施を目指します。	特に進捗はありませんでした。	特に進捗はありませんでした。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、行事の実施は断念することとしました。ただ、RTにおいて、地区内VSを対象とした合同キャンプ行事の企画の話が持ち上がり、検討することとしました。	次年度5月にVS対象キャンプ行事を行うために、3月RTにおいて、準備を開始しました。	新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。一方で、VS部門のキャンプはどうあるべきか、という議論をラウンドテーブルで行うことが出来、それに向けての取り組みをスタートさせることが出来ました。次年度に向けて取り組みを継続します。
		RTや地区ローバース定例会において、韓国緑化派遣などの海外派遣事業や第3回東海4県連盟合同野営大会への支援参加を促進します。	韓国派遣予定者が地区内にいたが、COVID19の影響により派遣が中止となった。	地区ローバース定例会において、愛知ローバース会議の各種行事の案内を実施した。	地区ローバース定例会において、愛知ローバース会議の各種行事の案内を実施した。	地区ローバース定例会において、愛知ローバース会議の各種行事の案内を実施した。	県連行事については県下でもトップクラスの人数を参加させることができた。RT・地区ローバース定例会における案内は今後も引き続き実施し、地区内のローバース活動の活性化につなげていきます。
R S	地区ローバースの活動に対する支援・助言を行います。	COVID19の影響により総会が中止となるなか、運営に対する助言を行った。	第1回定例会運営に向けての助言を行った。	第2・3回定例会運営に向けての助言を行った。第3回定例会はCOVID19の感染拡大傾向にあったため、屋外開催・オンライン併用とした	第4回定例会運営に向けての助言を行った。次年度の非常時対応を見据え、全メンバーが自宅からのオンライン開催とした。	コロナ禍のなかではあったが、憲章に定めている年間4回の定例会を実施することができました。オンラインの活用などの推奨を行うなど、地区ローバースへの支援を行ってきました。一方で、地区ローバースのアクティビティについては満足な動きができません、この部分に対する支援を強化する必要があります。	
	将来の指導者養成を念頭におき、RSに対してボイスカウト講習会をはじめとした各種指導者研修への参加を促進します。	—	—	—	ボイスカウト講習会日程がローバースと重なったため、ローバースカウトに対するボイスカウト講習会への参加を積極的に促すことは控えることとした。	ボイスカウト講習会日程がローバースと重なったため、満足いく成果を出すことができませんでした。	
	RTを開催し、セーフフロムホームやローバース活動に関する情報提供・研修を実施します	COVID19の影響によりRT開催をとりやめた。	COVID19の影響によりRT開催をとりやめた。	RTを開催し、COVID19環境下におけるローバースカウトへの対応について意見交換を交わした。	RTを開催し、COVID19環境下におけるローバースカウトへの対応について意見交換を交わすとともに、ローバースカウトハンドブックの活用に対する討議を行った。	今年度発行されたローバースカウトハンドブックを題材として研修を行ってきました。分量的にも今年度だけで完結することができていないので、次年度も引き続き研修を進める必要があります。	
	RTや地区ローバース定例会において、防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促進します。あわせて、防災キャラバンへの支援を行います。	—	防災ボランティアコーディネーター養成講座へ地区ローバースの幹部を2名派遣。	—	—	防災キャラバンは中止となってしまったものの、近年参加が少なかった防災ボランティアコーディネーター養成講座にスカウトを参加させることができました。	
	地区内の団の情報を、団への巡回・訪問を通して収集し、団運営を支援します。	少人数団(隊)の活動に対して助言と支援を行います。目標3件	危機管理アンケート2回実施	—	団審査準備開始	—	団審査緊急事態宣言で中止により書類選考しました。資料の要点まとめを行いました。
	団訪問、情報提供及び団委員長サミット等による団活性化の支援をします。目標全団	アンケートにより役割分担を再設定	各エリアにて団委員長会議開催 団委員長の危機管理を確認 団サミット準備開始	—	団サミットによる団活性化の支援	団サミット緊急事態宣言で中止しました。書類審査により団審査資料としてまとめました。	
	スカウト増員を目的とした調査と団活動を支援します。目標5件	—	各団総会資料収集と確認	—	—	—	

令和3年度 日本ボーイスカウト愛知連盟尾張東地区 活動計画

令和3年度 地区運営方針

スカウト活動が円滑に進める事ができるように、各団夫々の課題点を提起し、支援をより一層強化し活動的に自立したスカウトを育成し、社会に認められる組織として野外活動を通じ、団体活動での規律を高め「スカウト数の増加・中途退団の抑制」「指導者の養成（確保）」に向けた取り組みを計画的に推進し、団及び委員会を支援するため、副協議会長、地区副委員長の担当制を設定します。

令和3年度 目標

(1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施
①中途退団者を上回る新規入団者の獲得を目指す
②地区内における市制空白地域の解消をします。(若手市)

(2) スカウトが自分の成長と成果を実感し意欲を高める場所を提供し全ての団から、「菊・華・富士」取得者を目指す。
①地区目標達成に向けた対応をします
②BS・VS部門への高度な野外プログラム支援の充実をします。
③BVS・CS部門への年代別プログラム支援の充実をします。
④プログラム支援を充実させ中途退団の減少を目指します。

(3) 指導者育成の充実
①スカウト教育法を再確認しウッドバッジ研修所・実修所の参加啓蒙をし、一貫支援（担当制）をし、指導者として資質向上を目指します。
②冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供できる指導者の育成をします。
③定型外訓練への参加を促すだけでなく社会人としての資質を高め、魅力ある指導者の養成をします。

令和3年度 重点施策

(1) 日本連盟・愛知連盟主催「海外派遣事業」・「国内事業」等に向けた支援
①スカウト・指導者および関連事業への支援態勢強化をします。
②文科省委託事業への積極的参加を啓蒙します。
③SCOUTS for SDGs 目標達成のために支援を推進します。

(2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進
①少人数団（隊）への他団との合同集会を推進します。
②団訪問等による団への支援を強化します。
③他団（他地域）の募集活動等の見学研修に向けた取組みをします。
④尾張ブロック野営大会参加の支援をします。

(3) 実効性のある指導者研修
①定型訓練・定型外訓練への参加を啓蒙し地区主催定型外訓練の充実をします。
②継続的にインサービス・サポートの推進をします。
③ラウンドテーブル（研修の場としての活用）および運営委員会の充実をします。
④活動に必要な外部団体資格取得を支援します。（WFA等）

(4) 危機管理体制の充実強化
①セーフ・フロム・ハームに関わる対策を強化します。
②防災士・防災ボランティアコーディネーターの養成をします。

行事計画と役割		行事・会議	各組織の機能	メンバー	関連施策番号	活動内容
1	運営委員会	1-1 総務・拡充委員会	スカウト組織とその拡充及び広報に関する企画	委員長 副委員長 各団委員 19名	目(1)-① 目(1)-② 目(1)-③ 目(1)-④ 重(1)-② 目(1)-① 目(2)-① 目(2)-② 目(2)-③ 目(2)-④ 重(3)-② 重(3)-③	組織拡充に関する各団の課題を吸い上げ、運営委員会・地区委員会等で協議依頼します。 地区誌はやぶさの紙面を見直し、年間計画を立て原稿依頼します。スカウトあいち原稿も計画的に依頼します。 組織拡充または広報に関する講演会・講習会を開催します。 各団のPRのため、日連HP団情報・団HP・SNS・動画などの活用を促進します。 文科省委託事業の案内とともに参加促進を図ります。事業成果についても確認します。 隊活動活性化のため、隊長認定技能章の支援、コロナ禍有効プログラムの情報交換をする。 各団より1名以上の菊スカウト章取得者を出すよう支援する。 各級別目標を管理し月ごとの団面接報告に基づき進捗を確認目標達成を目指します。 地区より10名の単スカウト章取得者を出す。 カブ完修の調査で早期完修を促し、小枝章5個取得の集計をし木の葉章の取得を増やします。 運営委員会の中で情報交換会を実施し各団の問題点を話し解決の方策を探る。
		1-2 スカウト進歩委員会	スカウト各人の進歩状況の把握と進歩に向けたプログラム活動の企画	委員長 副委員長 各団委員 19名	目(1)-① 目(3)-① 目(3)-② 目(3)-③	スカウトの中途退団を防止するため、指導者の資質（人間力）の向上を支援します。具体的な施策としては、全部門RTへ参加し参加者の自己研修に寄与します。 SCOUTSforSDGs 目標達成に必要な、学習環境の提供・整備を行います。 指導者訓練を有効性の在るものとするため、訓練の提供に留まらず、研修訓練後のフォローを行います。具体的な施策として、全団全指導者の研修歴を確認し、コミッショナーとの共同の上、次の研修参加を促します。 上記活動内容を実行することで、インサービス・サポートに繋がります。 RTまたTTからの訓練要望を受け、効果的に訓練を展開できる「環境」の提供をいたします。
		1-3 指導者養成委員会	指導者の育成を図るプログラム企画と場づくり	委員長 副委員長2名 各団委員 18名	目(1)-① 目(3)-① 目(3)-② 目(3)-③	団の活動が楽しく「活動に参加しよう」の意識が持てる団の環境を作ります。この為に各団の活動情報を委員会で報告し、利点を自団内で取り入れ、活気ある活動が出来るようにします。 日本連盟・愛知連盟が主催する海外・国内派遣事業等を各団へ広報し参加に向けた支援を行います。 SCOUTS for SDGs 目標達成に寄与する活動を支援します。 （「緑の募金」「スカウトの日活動」地区内全団の参加を目指します） 尾張ブロック野営大会の開催に向けた支援と参加者への対応を行います。 運営委員会活動の活性化と充実を図るため ①他の運営委員会やRTと協働し活性化要望事項を委員会活動に反映します。 ②コミGの団訪問や隊訪問に参加し、課題に対処します。 危機管理体制の充実強化 野営・旅行・海外旅行申請書の提出管理と集会実施計画書の作成と提出を実施します。
		1-4 行事・国際委員会	野営及び国際行事関係に係る対応策の企画	委員長 副委員長2名 各団委員 18名	目(1)-① 重(1)-① 重(2)-④ 重(3)-③ 重(4)-①	1. 各団の体験募集・新規募集活動計画等の情報収集と後方支援を積極的に行ないます。 2. 「全国防災キャラバン」開催予定。（春日井） 「セーフ・フロム・ハームセミナー」等 各種講習会案内と参加促進をします。 運営委員会の充実を進めます。インシデント報告（ヒヤリハット報告）を継続してゆきます。 危機管理体制の充実強化をします。 1. 防災ボランティアコーディネーター養成講座参加者3名以上を目標とします。 2. 防災士の養成をします。
		1-5 総務委員会	財政確保と行政対応等他の委員会に属さない事項への対応	委員長 副委員長 各団委員 19名	目(1)-① 目(3)-③ 重(3)-③ 重(4)-① 重(4)-②	定例会の開催を通じ、日本連盟・愛知連盟主催事業の情報交換を行い、各事業の参加率を高めることで、活動を活性化させるとともに中途退団の抑制に繋がります。 尾張ブロック野営大会等の地区内行事への積極的支援とを通じ、全部門のスカウト、指導者およびスカウトの保護者へ「かっこいいローバースカウト」の姿を見せることで、RSへの憧れをもってもらい、上進と活動への意欲を高め、活動の活性化と中途退団防止へとつなげていきます。 スカウト技能とプログラム展開能力を高める研修を実施することで、RS以下の各隊に対する奉仕能力の向上につなげます。 セーフ・フロム・ハームに対する理解を深め実践できるように取り組みます。 防災キャラバンの運営・防災ボランティアコーディネーター養成講座の受講を通して、防災に対する理解を深めます。 1. 防災ボランティアコーディネーター養成講座参加者3名以上を目標とします。 2. 防災士の養成をします。
2	尾張東地区 ローバース Frontier	RS対象の活動および情報交換	地区内のRSおよび同年代の青年指導者	重(1)	定例会の開催を通じ、日本連盟・愛知連盟主催事業の情報交換を行い、各事業の参加率を高めることで、活動を活性化させるとともに中途退団の抑制に繋がります。	
				目(2)-④ 重(2)-④	尾張ブロック野営大会等の地区内行事への積極的支援とを通じ、全部門のスカウト、指導者およびスカウトの保護者へ「かっこいいローバースカウト」の姿を見せることで、RSへの憧れをもってもらい、上進と活動への意欲を高め、活動の活性化と中途退団防止へとつなげていきます。	
				重(3)	スカウト技能とプログラム展開能力を高める研修を実施することで、RS以下の各隊に対する奉仕能力の向上につなげます。	
				重(4)	セーフ・フロム・ハームに対する理解を深め実践できるように取り組みます。 防災キャラバンの運営・防災ボランティアコーディネーター養成講座の受講を通して、防災に対する理解を深めます。	
				目(1) (2)	進歩制度への積極的な取り組み支援とプログラムの開発支援を軸にしてスカウトの活動満足度と保護者の満足度を高め、さらなる活動参加意欲向上により、中途退団の防止と新規加盟登録者の獲得を目指します。	
				目(3) 重(2)	RTにおいて各部門毎の基本的活動要件等を見直し、年代に求められる活動方法を研修・研究することでプログラムの質の向上を図ります。 定形外訓練の展開方法を見直し、訓練効果が高く発揮され、自隊活動プログラム等の質の向上に直接寄与する訓練になるように取り組みます。	
3-1	地区コミッショナー	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	コミッショナー 地区トレーニングチーム 地区救急チーム	重(3)	WSBC、WB実修所、ウッドクラフトコース、同委員研修所等の定型訓練への参加を促進し、参加者の事後のフォローを丁寧に行い、団、隊での活動が円滑に進むよう支援します。	
				重(4)	新しい生活様式における、SFHへの取り組みについて研修を行います。	
				重(1)(2) 重(2)(4)	ブロックキャンポリー開催に向けた支援と現地のサービス支援および非加盟員向けのサマーキャンプ開催（文科省委託事業）の実施により、活動のPRによる認知度の向上や、BS活動の有効性を示すことで、加盟員増加に結びつけることを目指します。	
				重(2)(3)	地区救急チームの専門性を推進し、教育分野、奉仕分野における専門的知識の活用を行う。WFAへの積極的参加を促します。	
				重(3)-③	ラウンドテーブルの研修において、ワクワクドキドキするプログラムの立案や、SDGsについての理解が深められるよう支援します。	
				重(2)-①	スカウト数5名以下の隊訪問を実施し、各団の状況に応じた支援を行います。	
				重(3)-①	2022年度の新制度施行（1年引き下げ）に向けて、年長年代の募集を兼ねたBVSラリーを3月に実施します。	
				目(2)-③ 重(3)-③	RTにおいて、中途退団防止、加盟員増加につながる楽しいプログラムが展開できるように、組活動の意義を見直すなど正しいプログラムプロセスの理解につながる研修・研究を行います	
				重(2)-①	指導者の学びの場として、スカウトの交流の場として、他団との合同集会や募集活動の見学を企画し、実施します。	
				重(2)-②	疑問や問題点を共有し気軽に相談できる環境を作るため、RT（年8回）、隊訪問（4隊以上）、地区行事、地区定形外訓練などを活用し、各隊相互のコミュニケーションを強化します。	
				目(2)-① 目(3)	尾張ブロックキャンポリーへの参加に向けて、連盟に協力するとともに、隊指導者を支援します。キャンポリーを通して、野外活動と班制度を生かすことでスカウトが「ワクワク・ドキドキ」「楽しさ」を感じることができると、それがスカウトの成長に好影響を与え、中途退団防止にもつながることを指導者が体験・体感し、自隊の活動につながる「気づき」を得られる場とします。	
				重(2)	ブロックキャンポリーの事前訓練の実施状況を訪問を含めて把握することを通じて、個々の隊状況を分析・把握するとともに、隊指導者とのよりよいコミュニケーションをはかり、当地区BS部門および各隊に必要な支援を明確にし、実施します。少人数隊での活動の充実についても支援します。	
目(3) 重(3)	基本をしっかりと理解したうえでスカウトによりよい活動の提供が出来るよう、BS部門指導者のウッドバッジ研修所、実修所等定型訓練への参加、および地区内定形外訓練への参加を促し、指導者の育成・指導スキルの底上げに努めます。					
目(2) 重(3)	すべての隊から菊スカウトが誕生し、またVS上進前に菊章取得ができるよう研究と実践を行います。また、VS部門との合同ラウンドテーブルを定期的に開催し、進歩制度上の協働およびジュニアリーダーとしての連携、上級部門の姿をスカウトたちに見せる場の工夫等にも取り組みます。					
3-2	BVS部門	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	副コミッショナー1名 個隊指導者	重(2)	ラウンドテーブルの研修において、単・富士章の各進歩課題修了に向けた、各団の取り組みレベルや具体的なプログラム・活動について研究し、スカウトの進級に結び付くよう隊長を支援します。また、進級状況の把握や申請書類の作成がスムーズ、かつ効率的に行えるよう、スカウト進歩委員会やボーイ部門と協働して個人記録や進歩記録の書式の見直しを行います。	
				目(2) 重点(2) 重点(3)	個別の隊訪問と進歩状況分析を踏まえ、個々の隊や隊長に対する支援を強化し、各隊でのベンチャー活動活性化に努めます。	
				重(2)-① 重(2)-④	尾張ブロック野営大会への参加や地区ベンチャー活動を通して、地区内スカウト同士が継続して交流を持てる場づくりを戦略的に実行し、「次につながる仲間づくり」を支援します。	
				目(2)-④	ジュニアリーダーの活用等ボーイ部門との連携を強化し、ベンチャー部門の魅力を語る指導者を増やします。また、ローバースカウトの見える化（地区ベンチャー活動へのローバースカウトの参画、技能講習会へのローバースカウトの関与等）を行い、ローバースカウトとの接点を増やし、上進意欲の向上を図ります。	
				目(2)-④	VS部門等他部門との連携（地区ベンチャー活動へのローバースカウトの参画、技能講習会へのローバースカウトの関与等）を図り、ローバースカウトが後輩スカウトの前で活躍する機会を設けることで、VS以下の年代の上進意欲を高め、中途退団を抑制します。	
				重(1)-① 重(2)-④	隊長・地区ローバースを通して、尾張ブロック野営大会等の行事への支援参加を促進します。	
3-3	CS部門	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	副コミッショナー1名 個隊指導者	目(3)	ローバースカウトのボーイスカウト講習会の受講を促すよう団に隊長・地区ローバースを通じて働きかけることで、将来の指導者の育成に繋がります。	
				重(3)-①	RTにおいて、セーフフロムハームやローバース活動に関する情報提供・研修を実施します。各隊指導者がオンラインを活用した活動に取り組み始めるよう、支援を行います。	
				重(4)	隊長・地区ローバースを通して、防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促進します。あわせて、防災キャラバンへの支援を行います。	
				重(4)	RTや地区ローバース定例会において、防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促進します。あわせて、防災キャラバンへの支援を行います。	
				重(1)-①	「スカウト数増加施策」策定とキックオフ支援：4～5月全団	
				重(1)-②	文科省事業を含む募集活動計画の確認と必要な支援の手配：5月以降全団	
3-4	BS部門	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	副コミッショナー2名 個隊指導者	重(2)-②	スカウト数カテゴリーD(ランク1)の団の活動に参加：5月以降6個団	
				重(2)-③	募集活動の見学による効果的な募集活動の調査：随時情報による	
				重(3)-③	サミット6に向けて「ボーイスカウトの選考課題」の準備	
				重(1)-①	1. 愛知連盟地区事務会議へ参画します。 年2回	
				重(2)-②	2. 地区協議会(総会含む) 年2回、団委員長会議 年3回、地区委員会 年9回開催します。	
				重(3)-③	3. 危機管理委員会を開催します。	
3-5	VS部門	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	副コミッショナー1名 個隊指導者	重(4)	4. 地区財政・財務管理、表彰関連、資料管理をします。	
				重(4)	5. 各委員会と協働し資料作成など事務作業をします。	
				重(4)	6. 県連情報伝達等による配布資料の分配、情報伝達のバーバライズ化を図ります。	
				重(1)-①	「スカウト数増加施策」策定とキックオフ支援：4～5月全団	
				重(1)-②	文科省事業を含む募集活動計画の確認と必要な支援の手配：5月以降全団	
				重(2)-②	スカウト数カテゴリーD(ランク1)の団の活動に参加：5月以降6個団	
3-6	RS部門	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	副コミッショナー1名 個隊指導者	重(2)-③	募集活動の見学による効果的な募集活動の調査：随時情報による	
				重(3)-③	サミット6に向けて「ボーイスカウトの選考課題」の準備	
				重(1)-①	1. 愛知連盟地区事務会議へ参画します。 年2回	
				重(2)-②	2. 地区協議会(総会含む) 年2回、団委員長会議 年3回、地区委員会 年9回開催します。	
				重(3)-③	3. 危機管理委員会を開催します。	
				重(4)	4. 地区財政・財務管理、表彰関連、資料管理をします。	
4	団担当 コミッショナー	地区内の団の情報、副委員長とのコミュニケーションを密にして収集し、団運営を支援する	団担当コミッショナー 6名	重(4)	5. 各委員会と協働し資料作成など事務作業をします。	
				重(4)	6. 県連情報伝達等による配布資料の分配、情報伝達のバーバライズ化を図ります。	
				重(1)-①	「スカウト数増加施策」策定とキックオフ支援：4～5月全団	
				重(1)-②	文科省事業を含む募集活動計画の確認と必要な支援の手配：5月以降全団	
				重(2)-②	スカウト数カテゴリーD(ランク1)の団の活動に参加：5月以降6個団	
				重(2)-③	募集活動の見学による効果的な募集活動の調査：随時情報による	
5	事務局	地区全般事務関連業務	事務局長 副事務局長 会計係	重(3)-③	サミット6に向けて「ボーイスカウトの選考課題」の準備	
				重(1)-①	1. 愛知連盟地区事務会議へ参画します。 年2回	
				重(2)-②	2. 地区協議会(総会含む) 年2回、団委員長会議 年3回、地区委員会 年9回開催します。	
				重(3)-③	3. 危機管理委員会を開催します。	
				重(4)	4. 地区財政・財務管理、表彰関連、資料管理をします。	
				重(4)	5. 各委員会と協働し資料作成など事務作業をします。	

令和3年度・尾張東地区諸会議/行事

開催会議名称		開催日(基本計画)	時間	場 所 (部屋名)	3/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
地区諸会議	地区協議会(総会を含む)		18:00		11												10						
	地区委員会	指定月 第2日曜日	19:00	レディヤン 研修室		9	13	11		12		14	12	10		13・27		8	12	10			
	団委員長会議	指定月 第2土曜日	19:00	レディヤン 研修室	3											12		2					
	企画会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1集会室	25	23	27		22	26	24	28	26	23	27	6		24	22	26		28	
	地区コミ会議	偶数月 第4日曜日	19:00	レディヤン 第1集会室	25		20			19			26	16									
	団担当コミ会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1集会室	3		13			12		14	26		12			2		12			
	地区名誉会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1会議室												27							
	組織・拡充委員会	指定月 指定日	19:00	レディヤン 第4会議室			16		18		19		21		16		20		15		17		
	総務委員会	指定月 指定日	19:00	レディヤン 第2会議室	4		5			4		6		29				3		4			
	指導者養成委員会				第1会議室	18		27		22		24		19		20		17		19		21	
	スカウト進歩委員会	偶数月 第3日曜日	19:00	レディヤン 第2会議室	18		27			22		24		19		20		17		19		21	
	行事・国際委員会				第4会議室	18		27		22		24		19		20		17		19		21	
	RT	BVS隊	指定月第4日曜日	19:00	レディヤン 第4会議室		23	27	25		26	24	28		23	27			22	26	24		
		CS隊					23	27	25		26	24	28		23	27			22	26	24		
BS隊		18:00				研修室		23	27	25		26	24	28		23	27			22	26	24	
VS隊		19:00					レディヤン		23	27	25		26	24	28		23	27			22	26	24
RS隊		指定月 指定日時	17:30	レディヤン	10		13				17				27		9						
地区ローパス会議	指定月 指定日時	19:00	レディヤン	10		13		14		17			26・27		27		9						
地区団登録審査	地区														20・26								
スカウト対象	VS技能章(茶道章)	スカウト進歩委員会																					
	VS野営管理章			30																			
	VS技能章(救急)				20						17												
	VS技能章(看護)												7	16									
	BS技能章																						
	スカウトフォーラム																						
地区VS行事																							
地区トレーニングチーム会議	地区TT		()はチーム会議																				
指導者対象	定形外訓練	CS隊指導者研修会	指導者養成委員会	未定		23																	
		長期野営スキル研修会		未定			5~6																
		安全衛生・救急研修会		未定			27																
		スキルトレーニング		未定						①29								②27					
		オンライン会議セミナー		未定					11														
		BS・VS隊指導者研修会		未定						29													
	BVS隊指導者研修会	未定											14										
	定型訓練	ボーイスカウト講習会 3-11		小牧市ふれあいセンター								5											
		ボーイスカウト講習会 3-16		北名古屋市文化勤労会館														13					
		WB研 SC愛知第15期		新城 吉川野営場			2~5																
		WB研 SC愛知第16期		新城 吉川野営場									17~20										
		WB研 SC愛知第17期		新城 吉川野営場										8~11									
		WB研 課程別		未定										31									
		CS 実修所		新城 吉川野営場					16~19														
ウッドクラフトコース		新城 吉川野営場			29~4																		
団委員研修所 第42期	未定											9~11											
コミッショナー研修所	未定											23~26											
日本連盟 全国大会		静岡県熱海市			29~30																		
愛知連盟 年次総会		名古屋国際センター別棟				20																	
2020尾張ブロックキャンポリー		吉川野営場						6~11															
第70回全国植樹祭2周年記念イベント		愛知県森林公園		29																			
防災ボランティアコーディネーター養成講座		未定									10												
RS対象「リクルート懇談会」		未定								10													
RS対象「セーム・フロム・ホームセミナー」		未定											10										
防災キャラバン		未定																					

祝日振替休日が月曜日にある場合は、月曜日に会議を開催する
但し会議重複がある場合は地区委員会を優先する

会議室の変更もあります